新規取引・追加受注前の与信確認チェックリスト

新しい取引を始めるとき、または既存取引先から追加注文を受けるときに、
社内で確認しておきたい項目を列挙しました。

1. 取引条件と最大債権残高を把握する

- [ ] 想定する月間取引額・1回あたりの受注額を確認した
- [ ] 締日・支払日・支払方法を確認した
- [ ] 既存の売掛金残高や貸付金残高がある場合、その金額を確認した
- [ ] 追加受注後、次回入金までに最大いくらの債権を持つか試算した

2. 相手先情報と取引実績を確認する

- [ ] 会社概要、所在地、代表者、設立、主要事業などの基本情報を確認した
- [ ] 直近の決算情報や信用調査情報を取得できる場合は確認した
- [ ] 過去の入金遅延、支払条件変更、トラブルの有無を社内で確認した
- [ ] 新規取引の場合、紹介元・取引開始の経緯を記録した

3. 自社側の許容額と承認ルールを決める

- [ ] 与信枠または取引上限額を決めた
- [ ] 上限を超える注文は誰が承認するか決めた
- [ ] 入金遅延が起きた場合、追加受注を止める基準を決めた
- [ ] 営業・管理部門・経営者の役割分担を決めた

取引開始後も、与信は見直します

与信判断は新規取引時だけで完結しません。取引額、入金状況、支払条件が変わったときに、条件を見直せる状態にしておきます。

4. 取引開始後のモニタリング

- [ ] 入金予定日と実入金日を継続して確認できる
- [ ] 売掛金残高の増加を月次で確認できる
- [ ] 支払条件の変更依頼があった場合、記録して再承認する
- [ ] 与信枠を超える兆候がある場合、営業担当者だけで判断しない運用にしている

5. 追加受注の前に確認する

- [ ] 現在の未入金額と次回入金予定を確認した
- [ ] 今回の追加受注を含めた債権残高を試算した
- [ ] 予定入金が遅れた場合の残高も試算した
- [ ] 必要に応じて、前金・分割・支払サイト変更など条件見直しを検討した

社内ルールが曖昧な場合

現在の取引フロー、承認者、入金管理の方法を確認し、運用しやすい与信基準へ変更することができます。

※本資料は一般的な実務利用を目的としたもので、個別企業の信用力を保証するものではありません。